

2020.01.13 物流ウィークリー

マイシン「さらなる品質向上を」 新年会

【愛知】マイシン（辻直樹社長、豊橋市）は4日、豊橋市内のホテルアークリッシュ豊橋で令和2年度の新年会を開催。従業員ら171人が出席した。

冒頭であいさつを述べた辻社長は、「正

装」での参加を促していた同会の参加状況に触れて、「今回、ほとんどの方が正装で臨んでくれた。非常に嬉しく思う」と、その姿勢を高く評価。さらに自社の動きについては、積極的な営業展開とさ

らなる品質向上の推進に意欲を見せた上で、従業員らに対し

では「自分自身の行動をさらに進化させてほしい」と、マイシンの一員としての自覚を喚起した。その後、大前智本部長のはつらつとした乾杯の発声を合図に皮切られた宴の席は盛り上がりを見せ、途中ではマグロの解体ショーや芸人による余興も設けられるなど活況。マグロの解体ショーで自らも刃を入れた辻社長は取材に応じて、新年における所感を述べ、「昨年感じる

ことができた全社的な『一致団結』の手柄を、今年はさらに強めていきたい」と明言。加えて冒頭のあいさつでも挙げた「品質向上」というキーワードにもあらためて言及し、「そのためには社員との協力が不可欠だ」との思いを明らかにすると、牽引役を担うトップである自身

の覚悟についても触れた。その意気込みを示

（朝妻聖二）

令和2年 42期 株式会社マイシン新年会



従業員ら171人が出席

マグロに刃を入れる辻社長